



下松市 津波ハザードマップ

笠戸島地区

津波がやってくる時間

地震の種類	海面に影響が出始めるのは…	最大の津波がくるのは…
南海トラフ巨大地震	地震から 44 分後	地震から 130 分後
周防灘断層群主部の地震	地震から 20 分後	地震から 50 分後

揺れがおさまったら、30分以内に安全なところへ避難しましょう。

マップに関するお問い合わせ先 下松市役所防災危機管理室 TEL (0833) 45-1832 土木課 TEL (0833) 45-1850

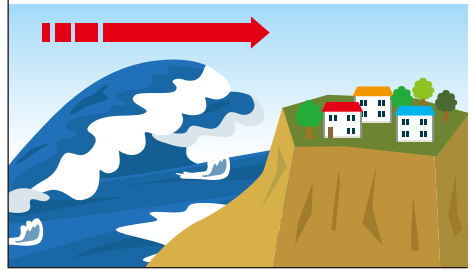
山口県下松市 平成27年7月作成

津波について

■津波の特徴

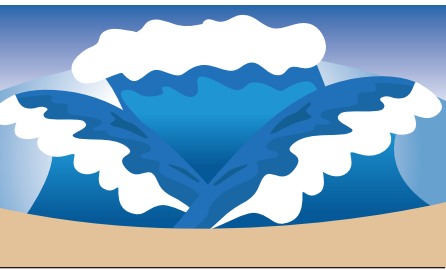
想定を超える高さもあるスピードも速い

- 津波は、想定以上の高さになる場合があります。
- 沖合いでジェット機なみ、海岸付近で新幹線なみの速さです。



繰り返し襲ってくる

- 津波は繰り返し襲ってきます。
- 第1波が最大とは限りません。



引き波で始まるとは限らない

- 引き波がなく、いきなり大きな波が襲ってくることもあります。



川をさかのぼる

- 津波は河口から川をさかのぼり、被害を及ぼすことがあります。

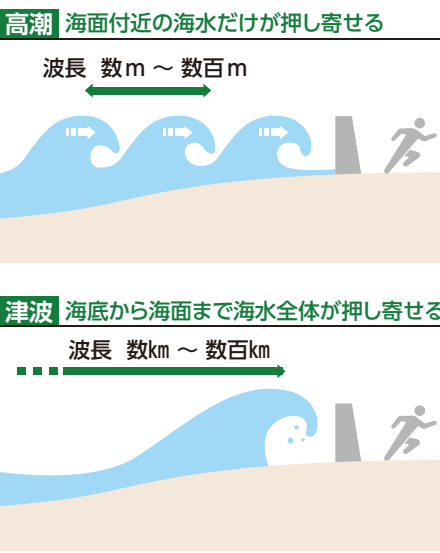


引き波の力は強い

- 引き波は特に流れが強く、50cm程度の津波でも、海に引き込まれることがあります。



参考 津波と高潮の違い



最大クラスの

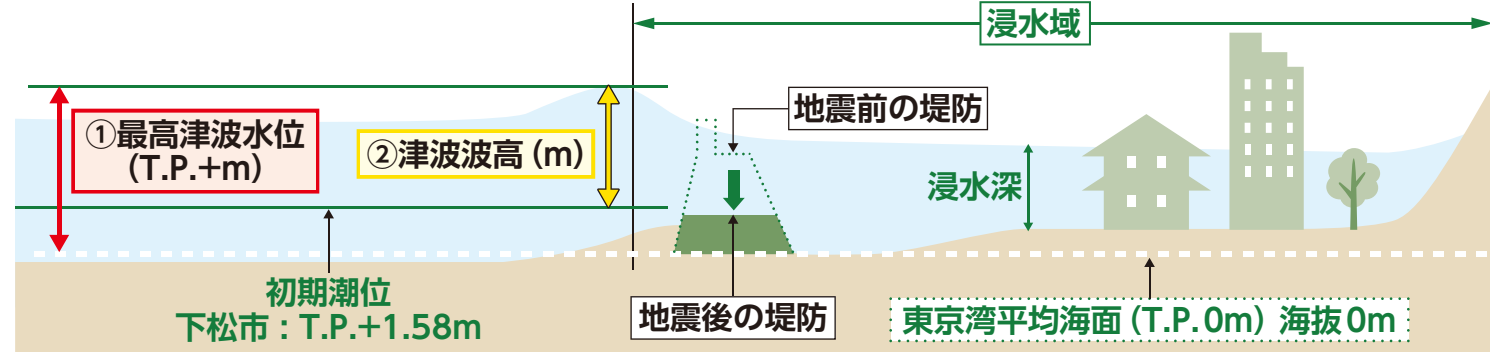
■下松市で予測される「津波を引き起こす地震」



地震の種類	モーメントマグニチュード	① 最高津波水位 (T.P.+m)	② 津波波高 (m)	最高津波水位到達時間 (分)
南海トラフ巨大地震	9.1	3.2	1.5	130
周防灘断層群主部の地震	7.2	2.9	1.3	50

※徳山下松港(下松市地区)での予測結果

津波の浸水域と浸水深の模式図



最大クラスの津波は、現在は科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後の発生が予測される津波から設定したもので有り、これよりも大きな津波が発生する可能性が全くないというものではありません。

■津波災害警戒区域(イエローゾーン)

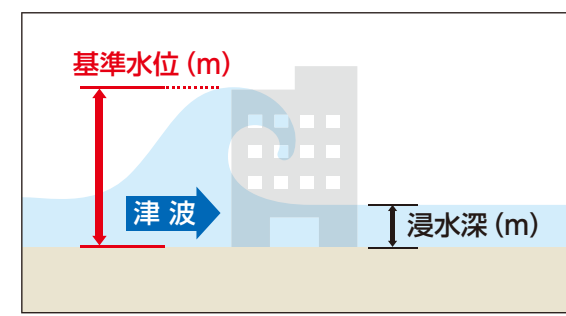
津波が発生した場合に、住民等の生命・身体に危害が生ずるおそれがある区域で、津波災害を防止するために**警戒避難体制を特に整備すべき区域**のことです。

- 津波災害警戒区域は、津波浸水想定区域を基に原知事が指定します。
- 津波災害警戒区域の土地利用や開発行為等に規制はかかりません。
- 下松市における津波災害警戒区域は、山口県が平成25年に公表した「津波浸水想定」の浸水区域を基本としています(無人島を除く)。



基準水位の公表

- 津波災害警戒区域指定と併せて基準水位が公表されています。
- 基準水位とは、津波浸水想定の高さに、津波が建物等にぶつかった時のせり上がりを加えた水位で、地盤面からの高さ(水深)で表示されます。
- 基準水位により、その場所で避難する際に必要な高さを知ることができます。
- 津波災害警戒区域や基準水位は山口県のホームページで確認することができます。



詳しくは▶ http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a18600/bousai/tsunami_yellow.html

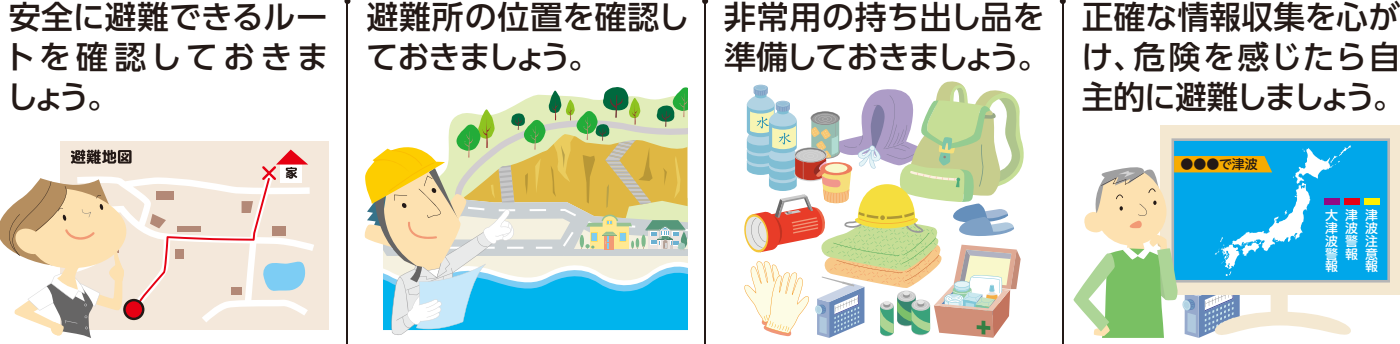
山口県津波災害警戒区域 検索

災害に備えよう

この津波ハザードマップをくだまつ防災ガイドブックセットに同封してください。

家庭や地域での日ごろからの備えがとて大切。平常時には自分の家や地域の危険箇所を確認しておいたり、自分のための防災マップを作成し、現地なども確認しておきましょう。

■普段の準備と心得



■我が家の防災メモ

災害時の避難場所、避難場所での出会えなかった時の家族の集合場所や、家族の連絡先を書いておきましょう。

避難場所		家族の集合場所	
連絡先	電話番号	連絡先	電話番号

災害時の持ち出し品チェックリスト 災害時の持ち出し品

すぐに持ち出せるように、ひとまとめにしておきましょう。重さは10～15kgが目安です。

ヘルメット	手袋	懐中電灯	非常食・水
衣類	タオル	携帯ラジオ	健康手帳・薬手帳
ティッシュ	筆記用具	携帯電話充電器	救急セット
貴重品	身分証明書		

その他必要に応じて準備しておきましょう。

- 紙おむつ
- 万能ナイフ、ライター
- ポリ袋
- ロープ
- 使い捨てカイロ
- 粉ミルク、ほ乳ビン
- 雨具
- など

津波から命を守るために

自宅や家族に関係する場所の浸水深を確認しておきましょう。地震や津波から命を守るために、いざというとき素早い判断で避難をし、命を守りましょう。

南海トラフ巨大地震発生

マグニチュード	下松市では最大	揺れ
M9.1	震度5強	約4分間

気象庁から緊急地震速報発表

立ってられない揺れ 身の安全を確保す！

家庭では

- 机やテーブルの下へ隠れて頭を保護し、じっと待つ。
- 倒れてくる家具や落下物に注意する。
- ドアや窓を少し開けて、逃げ道を作っておく。

自動車の運転中は

- 車は道路の左脇に寄せ、鍵は
- 港に戻らず沖合へ避難する。

船に乗っていたら

- 港に戻らず沖合へ避難する。

地震発生から2～3分

気象庁から津波警報発表

- 地震発生から2～3分で津波情報が発せられます。注意報・警報等が出たら慌てず、冷静に避難しましょう。

強い揺れがある

強い揺れがおさまったら 落ち着いた状況で把握する！

- 1分以上の長い揺れが収まったら、警報等の発表を待たずにすぐ避難する。
- すぐ避難できるように運動靴を履いておく。
- 避難前には火元を確認。都市ガスは自動で元栓が閉まる場合があります。
- 海へ行って確認しない。津波が見えてからでは逃げられません。

強い揺れがおさまった

沿岸部に津波の影響が出る前に 安全な場所に避難する！

※下松市では、20～40分後に影響が出始めると予想されています。

自宅、職場、学校などに津波の危険が

浸水区域には近づかない！

避難場所に行く必要がない

家族や近隣住民の安否確認を行う。

周囲と協力して救出・消火活動を行う。

余震や津波など災害情報に注意する。

ガラスの破片や転倒した家具などの片付けを行う。

避難場所に行く必要がある 一避難所に行く5つの理由

1. 「ガスの途絶」「断水」「トイレの使用不可」など「ライフラインの使用不可」
2. 「行政支援、情報・物資、人のいるところを求めて」など「情報・物資の要求」
3. 「高齢者・ケアが必要な家族の存在」
4. 「建物の安全性への不安」「避難指示等が出ておらず、周囲に誘われて」
5. 「余震が怖い」「環境変化への心配のある乳幼児がいない」

ブレーカーを切り、ガスの元栓を締める。

非常時持出品を準備する。

避難行動要支援者の避難者に協力する。

すぐに逃げる！ 揺れを感じなくても、注意報・警報が発表、市から避難指示・勧告が発令されたらすぐ避難！ 戻らない!! できれば走って高台へ！

持出品は取り出しやすい場所に保管する。

より早く、遠くへ、より高所へ避難する。

小さな揺れでも要注意。まずは避難が最優先！

海岸や河川からはできるだけ遠ざかるように避難する。

原則として車で避難しない。渋滞を引き起こし、危険です。

津波警報が解除されるまでは戻らない！

市が指定した浸水被害のない避難所・避難場所、高台へ避難する！

指定避難場所(津波)

広域避難場所

- 近くに高台が無い場合は、高くて頑丈な建物に避難する。可能な限り高い所へ避難。
- 避難場所では、最新の情報を収集する。

地震・津波の危険がなくなった津波警報・注意報の解除

家に被害がない

家に被害があり、生活できない

地震発生から数日

家にもどる

避難場所での避難生活(浸水域外)

■津波警報・注意報の分類

	予想される津波の高さ		高さのイメージ	想定される被害	とるべき行動
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の表現			
(特別警報)	10m超(10m<高さ)	巨大		木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。	ただちに避難！ 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで、安全な場所から離れないでください。
	10m(5m<高さ≤10m)				
	5m(3m<高さ≤5m)				
津波警報	3m(1m<高さ≤3m)	高い		海拔の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。	より高い所へ！ ここなら安全と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
津波注意報	1m(20cm≤高さ≤1m)				

- 震源が陸地に近いと、津波警報が津波の襲来に間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
- 津波は沿岸の地形などの影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
- 地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配が無い場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報(若干の海面変動)」を発表します。

避難に関する情報

「避難に関する情報」には、下記の3つがあります。

避難準備情報	避難勧告	避難指示
避難準備! 自主避難の目安に!	避難してください!	直ちに避難行動を!

災害時の心得

子どもや高齢者は一緒に避難を!

- お年寄り・子ども・障害や病気のある方などは、早めの避難は避ける。
- 子どもや高齢者などは、背負うなどの配慮をする。

安全な経路で足下に注意しながら避難を!

- 河川に近づくことや、かけがいの道などは避ける。
- マンホールや側溝が見えない場合があるのを、棒などを使って足元を確認しながら、注意して避難する。

2人以上で歩いて避難を!

避難時の服装

- 避難時は動きやすい服装で、2人以上で行動する。
- 車での避難は、渋滞による避難の遅れや、水に流されるなど危険を伴うので控える。
- 長袖・長ズボン等の安全な服を着用し、ヘルメットや防災ずきんを頭を保護する。
- 荷物は最小限のものにし、徒歩で避難する。
- 履物は、ひもでしめられる底の厚い運動靴を。長靴は中に水が入り、歩かにくくなるため、やめる。

緊急車両への配慮

- 車での移動は、緊急車両の通行の妨げになるので、控える。

下松市
津波ハザードマップ
笠戸島地区

津波がやってくる時間

地震の種類	海面に影響が始めるのは…	最大の津波がくるのは…
南海トラフ巨大地震	地震から 44分 後	地震から 130分 後
周防灘断層群主部の地震	地震から 20分 後	地震から 50分 後

揺れがおさまったら、30分以内に安全なところへ避難しましょう。

津波ハザードマップとは

- 下松市津波ハザードマップは、最大クラスの津波が悪条件下で発生した場合の浸水域や浸水の深さを示したもので、山口県津波浸水想定の内容を反映したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 状況によっては、浸水域以外で浸水する場合や、表示の浸水深より浸水が深くなる可能性もあります。

※笠戸島地区のマップ面
下松地区の津波ハザードマップは別冊です。

凡 例

指定避難場所 (津波) 広域避難場所 県 道

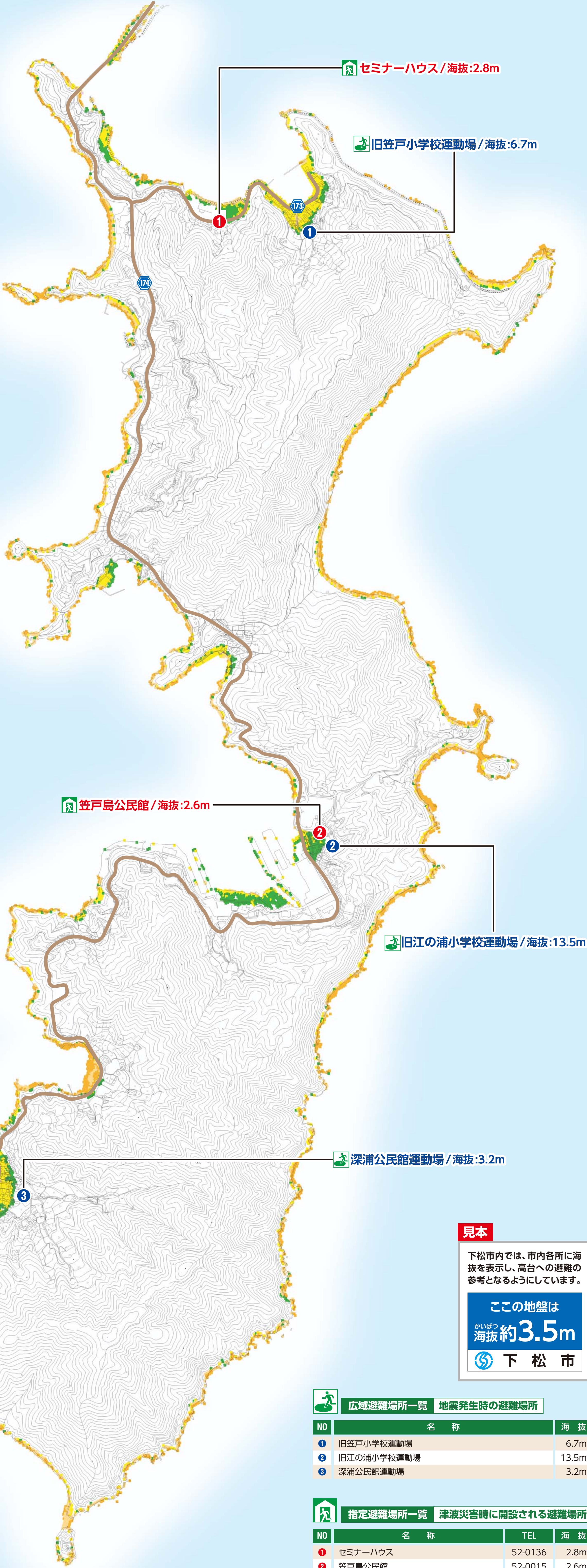
津波の浸水深 (m) 深さの目安

5.0m以上		5.0m ▶ 2階の軒下まで浸水する程度
4.0m以上5.0m未満		
3.0m以上4.0m未満		
2.0m以上3.0m未満		2.0m ▶ 1階の軒下まで浸水する程度
1.0m以上2.0m未満		1.0m ▶ 大人の腰までつかる程度
0.3m以上1.0m未満		0.3m ▶ 大人の膝までつかる程度
0.3m未満		

マップ上の津波浸水想定区域は、津波防災地域づくりに関する法律第53条に基づく「津波災害警戒区域」に指定されています。

津波災害警戒区域では、10m四方で分割した区画ごとに、津波浸水想定の高水深に津波が建物等にぶつかった時のせり上がりを加えた水位である「基準水位」が設定されています。津波災害警戒区域、基準水位は下記URLで確認することができます。

http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a18600/bousai/tsunami_yellow.html



見本

下松市内では、市内各所に海拔を表示し、高台への避難の参考となるようにしています。

この地盤は

かいばつ
海拔約**3.5m**

下 松 市

広域避難場所一覧 地震発生時の避難場所		
N0	名 称	海 抜
①	旧笠戸小学校運動場	6.7m
②	旧江の浦小学校運動場	13.5m
③	深浦公民館運動場	3.2m

指定避難場所一覧 津波災害時に開設される避難場所			
N0	名 称	TEL	海 抜
①	セミナーハウス	52-0136	2.8m
②	笠戸島公民館	52-0015	2.6m

